

花どけい

' 11/4/25 No.61



主な内容

- ☆ 地域との交流
- ☆ 総合相談
窓口サービス
- ☆ デイ「四季おりおり」
～楽しい環境づくり～
- ☆ ご利用者の声
- ☆ 介護の
ワンポイント



NPO法人ぐるーぷ藤

〒251-0004 藤沢市藤が岡1-4-2
TEL 0466-24-3100
FAX 0466-24-7100

E-mail:npo-fuji@cityfujisawa.ne.jp
<http://www.npo-fuji.com/>

居宅介護支援事業
訪問介護事業
訪問看護事業
小規模多機能型居宅介護事業
障害者グループホーム
高齢者住宅
ボランティア活動
レストラン

ぐるーぷ藤ケアマネジメント
ぐるーぷ藤ホームヘルプ
訪問看護ぐるーぷ藤
ぐるーぷ藤しがらきの湯
藤が岡の家
ぐるーぷ藤一番館
ボランティアすみれ
OHANA(オハナ)

通所介護事業 デイハウス藤の花
〒251-0045 藤沢市辻堂東海岸1-7-28
TEL 35-5600 FAX 35-5800

通所介護事業 デイハウス菜の花
〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸2-9-11
TEL 35-7330 FAX 35-7330

発行責任者：鷲尾 公子



お元気ですか

理事長 鷺尾 公子

「この度の東日本大震災により被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。圧倒的な自然の猛威の中、なす術のない私たち人間の無力を改めて思い知らされました。この未曾有の災害に対し、小さな私たちに何ができるのでしょうか。私たちと同じ「NPO法人市民福祉団体全国協議会」の仲間たちもたくさん被災しています。

今、私たちだからこそできる協力として、介護の必要なお年寄りをお預かりする支援を考えています。もちろん住み慣れた場所です。ケアが行き届かない方に対し次善の策として一審館にお部屋を確保しました。また、災害ネットワークの呼びかけに呼び、4月半ばより順次メンバーを仙台に送り込む準備を進めています。今日本中が一つに繋がろうとしています。いまこそ全国規模での助け合いを実践する時です。共に手を取り合って前に進んでいきましょ。

『ぐるーび藤』は今年20周年を迎えます。こんなに長い間『藤』を育てて下さったご利用者の皆さまに心より感謝申し上げます。

そしていつも温かい言葉で励まして下さった応援団の皆さま、ふじファンドに出資し経済面で支えて下さった皆さま始め関係者の方々に御礼申し上げます。また心一つにして活動してきた大切な仲間たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。先日、理念の共有のための研修で在籍10年以上のメンバーと話し合いの機会を持ちましたが、どの顔も懐かしくまるで同窓会のような顔の皺は増えていても眼の輝きは変わらず、その発言は自信と落ち着きに満ちていました。まさに、このメンバー一人ひとりが原動力として頑張ってきたからこそ、現在の『藤』があるのです。そしてこれからも変わらず力を合わせて行くことを誓い合いました。皆さまが『藤』に寄せて下さっている期待を裏切ることなく、今後も地域の皆さまと共に活動して行きます。

一方、私たちの活動が新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど多くのマスコミに取り上げられたことにより、相変わらず全国からの見学希望と講師依頼が続いています。現在見学者は来年の秋までお待ち頂いている状況です。資産というものを持たなかった私たちが、様々な人たちの応援を得て福祉マンションを作り上げたことを事例として伝

えることで、市民同士が助け合う活動が他の地域でも広がる事を心から願っています。またその活動こそが自分たちが住む街を福祉豊かな街に作り上げていく事になると信じています。当初は日本で初めての多機能型福祉マンションとして注目されていたように思いますが、3年半たった現在では高齢者、障がいのある人、子どもたちが一つ屋根の下で集い合うその住まいだけでなく、組織としての運営方法を知りたいという方々が増えているように感じています。

私たちはいつも民主的な運営を心掛け、活動の全てを会議という話し合いの場で決定しています。月に1回開かれる運営報告会では、全メンバーを対象に運営会議で決定した事を報告しています。そしてその決定について意見を募り、必要に応じ再度運営会議に諮ります。全ての部門において、月に1回から2回のミーティング及び部門会議が開かれ、それぞれ話し合いの場が持たれています。そして会議や研修を通してNPOとしての理念の共有や確認を行います。私たちは一人ひとりが主体的に活動できることを目指しています。そして部門を超えて助け合いの活動を実践しています。



地域とのつながりを大切に！

地域の皆さまからあたたかいご支援をいただき、交流の輪を広げています

どんぐり園との交流

ひな祭りの準備で子供達と
流し雛づくり



ふんそーね？



ここはこーやってね～



アロハスピリットの皆さんとの楽しいひととき

呼んでいただきありがとうございます。
「月の夜は」では、みなさんフラダンスで
参加していただき盛り上げて頂きました。



オハナ
ガールズ



オハナガールズの方々とも一緒に歌って
とても楽しかったです。みなさんの手拍子
と笑顔に私たちも元気をいただきました。
アロハスピリット一同



みんなでフラダンス？

二胡の演奏



なんて 素敵な
音色なんでしょう～

ハーモニカ レクリエーション



ウクレレも上手ね

自治会の餅つき大会に参加



おいしいね～



獅子舞 興奮するわ～

音楽レクリエーション



ご存知ですか？

「ぐるーぷ藤」総合相談窓口サービス

地域の安心を支えるために、
相談サービスを行っています

皆様お気軽にご利用下さい
0466-24-3100

総合相談窓口では看護師、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネジャー、栄養士等が常駐し、
“地域の駆け込み寺”として、福祉・医療をはじめあらゆる相談に応じます。
昨年度の対応件数は、合計82件でした。



子ども
障がい者
高齢者が
ひとつ
屋根の下で...

☆ レストランオハナを 利用していたお母さん

この方は、持病を持ちながらの第2子の出産にとっても不安を感じていましたが、「藤」の看護師に相談したことで出産に自信を持たれ、無事第2子を出産。今は幸せいっぱいの子育てをされています。



相談のあれこれ

☆ 高齢者の介護相談

高齢の親の将来に関する相談が多いです。
・話を聞くだけで安心されたケース
・地域包括支援センターを紹介したケース
・緊急にヘルパーを派遣したケース等 ありました。

(「一番館」への入居希望の相談も多いのですが、現在は満室のためお待ちいただいております。)

☆ 精神障害の方についての相談

- ・退院を控え入居先を探している相談
- ・高齢な両親から子供の将来を案じる相談
- ・他の施設から移りたいとの相談等 切実な相談が非常に多いです。

安心の住まいとしてのグループホーム不足の現状があり、皆様とても困っておられます。

☆ 認知症の老夫婦

地域にお住まいの認知症の老夫婦。週に何度か、仲良くレストラン オハナにお食事にいらしていました。ある日、帰宅時に自宅の鍵がないとパニックに。丁度居合わせたスタッフが、セキュリティサービスに連絡をとり開錠しました。

☆ 引きこもりの子

高校のころから引きこもっている息子さんを持つお母さん。ある日、レストラン オハナで視覚障害の方が生き生きと働いている姿を見て、「藤」で働くことができるかと相談。今すぐには無理でも、徐々に「藤」とのかかわりを強めて、その先に就労も考えられるのではないかとアドバイスしました。

☆ 税務相談

遺産相続、税務相談、土地の売買、資産運用等に関する税の相談も、顧問税理士がお受けしました。

相談対応者のコメント

窓口にはさまざまな方が訪れます。この3年間特に多かったのが精神障害を抱えた方やそのご家族からのご相談でした。市内の方はもとより県外からも、親なき後の生活が心配でグループホームに入りたい、どんな支援が受けられるのか、今の状況を何とかしてほしい、との切実なご相談がありました。いろいろな方法とともに考えながら、解決には至らないまでも少しでもお気持ちが楽になれるようお話を聞きました。そのご要望に地域の中で応えていくことが「藤」の役割かと考えています。

精神保健福祉士 松岡薫

内部・外部問わず様々な相談を受けてきました。地域に、医療・介護についての相談窓口サービスがあることが、利用される方にとっても非常にうれしいことなのだと実感しています。皆さんが困っていることについて、きちんと話を聞いて、その場で何か応えてもらえる。それだけでも、問題が整理されて、将来について不安を感じる事が少なくなるようです。私たち受ける側もこの地域に総合相談窓口があることに大きな意義を感じています。

看護師 巻渕静美

☆ 家の新築

身体障害のある娘さんと2人暮らしのご高齢のお母さんが、家を新築するに当たり、設計の相談に応じました。図面を見ながらケアマネジャーがアドバイスし、また、契約の際に不安を感じるのとこのことで、弁護士を紹介しました。



デイサービス 四季おりおり



人が楽しいと感じるのはどんな時なのでしょう？
人から大切にだと思われていると感じるとき、人は「居心地が良い、楽しい」と感じるのではないのでしょうか。



そんな思いからゲスト（ご利用者）が主役になれる環境づくりを大切にしています。



- ★ みんなで笑って **笑顔**のある環境づくり
- ★ 介護されるだけでなく、自分でできることがある **喜び**のある環境づくり
- ★ 「美味しかった！」 「気持ちよかった！」 「また来たい！」 **望み**のある環境
そのための工夫として、気温、湿度、色彩、接遇など大切にしていることは沢山あります。なかでも“**おひさまの光**”をととても大切にしています。

おひさまの光を浴びる ⇒ ワクワクして元気がでる
⇒ 体にリズムができる ⇒ 昼間の活動が活発になる
⇒ 心地よい疲労感 ⇒ 夜はぐっすり・・・

おひさまの光を浴びた庭の草花、水仙、パンジー、キュリップ、バラ、梅、みかんなどが、ゲストとスタッフを和ませてくれています。心が和むと、すべてが「い～いかげん」になり、うまく運びます。

おひさまに感謝！感謝！

今日もデイが始まります。

デイハウス 「藤の花」の楽しい工夫

浴室



浴室壁面の花



みかん・バラ
と一緒に入浴

お風呂
あがりには
ゆったり
メイク



きれいにね！

談話室



おほほ
おほほ
わはは



みんなで作った
ちぎり絵

厨房

手作りのいい匂い



季節感ある食事

静養室



ちょっと
お休みベッド

お正月の写真から

秋山 芳子

お正月、我が家の一族が集まりました。
ベッドから起き上がった主人が集合写真を撮ると
言い出しました。パジャマの上に古い羽毛の裃纏姿
です。「こんな恰好で？」と私、でも半分は嬉しく
そしてパチリ。我が家では家族が盛装し、床の間を
背に集合写真を撮るのが正月の恒例でした。

一昨年の正月、主人に異変が起こりました。知力
判断力、方向感覚凡て無く、人形のような人がそこ
に居たのです。その日から私の介護の旅路がはじま
りました。医師にC型肝炎・肝硬変・肝性脳症と告
げられ、聞きなれない言葉にオロオロするばかり。
いざ介護、どこに相談すべきか悩みました。幸いな
ことに私には介護のプロの妹が居りました。そして
「べるーぶ藤」に出会うことが出来たのです。

一昨年正月の主人の顔、昨年、そして今年と少し
ずつ明るくおだやかな顔になっています。主人と私
にとって「べるーぶ藤」に出会えたことは何より大
きな収穫でした。一人ひとりが優しく親切で、思い
やりの心を持った人の集まり。「べるーぶ藤」の皆
さま良いお正月を本当に有難うございました。



スタッフ紹介

2010年5月から6月に入会された3名の方々です。

○ **久保田 文子** 5月入会
知人の紹介で一緒にお仕事
させていただいております。
なかなかお役には立ちません
が、日々勉強させていただいて
おります。色々と吸収し、
これからも頑張りたいです。

○ **西尾 早苗** 6月入会
訪問看護の再開を機に知人
の紹介で入会しました。優し
くて楽しいご利用者やスタッ
フの方々とお出会えたことに感
謝しつつ、今後も仕事に励ん
でいきたいと思ひます。

○ **田口 満優子** 6月入会
「受けるより、与える方が幸
いです。」いつもこの言葉を心
に留めながら、ご利用者の気
持ちに添ったケアをしていけ
たらと思っています。



わが家のペット紹介

♪ 鷲尾さん家の愛猫達です♪



皆さまの投稿を
お待ちしております。

介護のワンポイント

在宅で介護を続けるには…

在宅で介護を続けるには、介護者が心身共に健康でなければ大変難しいことです。特に、精神的安定があればこそ続けていくことができます。ストレスをためず過ごすことが大事です。

- 一生懸命に努力 **すべき**
 - 人はお互い理解 **すべき**
 - 人にやさしく **すべき**
- → ↓ ↓
- 一生懸命に努力 **するに越したことはない**
 - 人はお互い理解 **するに越したことはない**
 - 人にやさしく **するに越したことはない**



に言葉を変えてみましょう

「湘南福祉フェア2011」に訪問看護部門が出展しました。

(主催：ふじさわNPO連絡会、共催：NPO法人昂の会、後援：藤沢市)



講演の様子

市内の福祉関係18のNPOや企業がブース出展し、講演「久田恵の介護録」をほさんで相談会も行われました。当日は、約130名の参加者で賑わいました。

「ぐるーぷ藤」は訪問看護部門が出展し、血圧測定や健康相談に応じました。

講演は、久田さんがシングルマザーとして不登校の息子と向きあいながら、20年に亘りご両親の介護・看取りをされた経験が話されました。介護をする日常のなかでどのように“自由”を得るかの工夫、現在ひとり暮らしをしながら“ファンタスティックに生きる”というテーマの追求をしている、などが心に残りました。



血圧測定



展示物

「リフトに触れて、使ってみよう」 湘南改造家 主催

住宅改修を行う「NPO法人湘南改造家」主催による

介護用リフトの研修が「一番館・しがらきの湯」で行われました。

参加者全員が利用者・介護者になれるようグループに分かれて行われました。その場で疑問や感想も話し合うことができ、実践的な内容でした。

床走行タイプは安定感があるものの、機器が大きく居室には不向きです。同じようなタイプでベッド装着だと良いと思いました。取り付け型は段差あるところでは非常に便利で利用者・介護者共に安楽にスムーズに移動できると感じました。



みんなでリフトの試乗



編集後記

東日本大震災で被災された方々にお見舞いを、亡くなられた方々へお悔やみを申し上げます。平穏な生活の中、一瞬にして最大の脅威と悲痛をもたらした、“こんな残酷なことが…”とことばを失いました。被災者の健気な姿に改めて日本人のすごさを知りました。日本中が一つになろうとしている今、「我々に何が出来るのだろうか？」と、自問自答している毎日です。「ぐるーぷ藤」では、NPO法人市民福祉団体全国協議会を通じて被災地を支援するためにカンパを募り、既に3回に亘り約40万円送りました。これからも続けてまいります。被災地の一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

(小野淑・上原美・戸田・橋本雅・井出)

NPO法人ぐるーぷ藤

受付時間：9：00～18：00

電話：24-3100

時間外（18：00～翌日9：00）の場合は、

090-7015-7062 までお問い合わせください。

表紙の絵は、川村コウイチ様のご厚意による作品です。

好評レシピNo.10
OHANA オハナ 菜の花と長芋のグラタン (4~5人分)

〈ほろ苦い大人の味…熱々をいかがですか？〉

| | | |
|----|----------------|------------|
| 材料 | 長芋 250g | バター 10g |
| | 菜の花 1束 | 塩・コショウ 各少々 |
| | エリンギ 1パック | 生クリーム 50cc |
| | オリーブオイル 大さじ1/2 | とけるチーズ 60g |

〈作り方〉

- ① 菜の花を半分切る。エリンギは食べやすく裂く。
- ② フライパンにオリーブオイルとバターを入れて熱し、エリンギ、菜の花の軸を順に入れて炒める。軽くしんなりしてから菜の花の穂先を入れて塩・コショウする。
- ③ 長芋の皮をむき、厚手のビニール袋に入れてたたいてとる状態にし、生クリームと塩小1/4を混ぜる。
- ④ 耐熱皿に②を入れ、③のビニール袋の下部を少し切ってその上にかけて、更にとけるチーズもかける。220℃のオーブンで色付くまで10分焼く。

レストランOHANA(オハナ)
日曜日～金曜日/11:00～16:00営業
皆さまのお越しをお待ちしております。

